

講義名	公共経済論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	竹内 信行		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	42089

主題と概要

公共経済論とは、政府などの公共機関が行う経済活動を分析する学問です。政府の経済活動は、道路整備などの公共事業だけでなく、各種の規制政策、社会保障政策など、多岐にわたります。そして、私たちは新聞やテレビなどのメディアを通じて、これら政府の経済活動に対する様々な批判や意見を目や耳にします。本講義では、政府の果たす役割やその必要性を経済学の視点から学び、みなさんが「政府による様々な経済活動の狙い」や「その評価」について正しく理解・判断できるようになるための基礎知識の習得を目指します。取り扱う内容の多くはミクロ経済学の知識を基にしており、複雑で難解な面もありますが、丁寧な解説を心がけ、楽しく学んでいけることを目標にします。

到達目標

公共経済学の基本的な知識の習得を目指します。具体的には以下の諸点を目標とします。

- ・ 需要曲線、供給曲線を用いて、市場メカニズムやその効率性について説明できるようになる
- ・ 市場の失敗について学び、様々な規制や公共政策の役割を理解する
- ・ 公共財の特色や、その供給の仕組みについて理解する

提出課題

毎講義終了時に講義に関する感想・質問等を記載してもらいます

評価の基準

- ・ 定期試験 : 50 %
- ・ 中間試験 : 30 %
- ・ 日常点 (講義終了時の問題演習 or 宿題) : 20 %

履修にあたっての注意・助言他

- ・ 履修にあたり、ミクロ経済学(できればマクロ経済学も)を既修済であることが望ましい
- ・ 「バツと聞いて分かる」というよりは「じっくり考えてから分かる」ことが多い学問です。そのため、授業内容の理解には「根気」と「努力」が必要になります。また、講義の内容上、数式や図表を用いることが多くなりますが、必要となる数学については適宜、説明を行います
- ・ 毎回の講義は、連続ドラマのようにそれまでの講義内容を前提とした「続き物」になっています。そのため、講義内容が途中で分からなくなると、講義自体がつまらなく辛い時間になってしまいます。大学の講義は皆さんにとって初めて聞く内容が大半であり、最初から分からないのは当たり前です。恥ずかしがらずに積極的に質問をし、疑問点は早めに解消していきましょう

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

ハンドアウトを配布するため、教科書は特に必要ありません。しかしハンドアウトだけでは不安な方は、下記にあげる参考文献の中から自分にあったものを用意してください。

- ・ 上村敏之 『公共経済学入門』 新世社, 2011 年。
- ・ 寺井公子, 肥前洋一 『私たちと公共経済』 有斐閣, 2015 年。
- ・ 井堀利宏 『基礎コース 公共経済学 第 2 版』 新世社, 2015 年。

授業計画

第 1 回 公共経済学とは
 第 2 回 ミクロ経済学の復習 (1) 需要曲線と消費者余剰
 第 3 回 ミクロ経済学の復習 (2) 供給曲線の導出
 第 4 回 ミクロ経済学の復習 (3) 生産者余剰
 第 5 回 ミクロ経済学の復習 (4) 市場メカニズムと余剰分析
 第 6 回 政府による価格政策の効果
 第 7 回 市場の失敗

第 8 回 これまでのまとめと確認：中間試験

第 9 回 外部性 (1) 外部性とは？
 第 10 回 外部性 (2) 外部性による市場の失敗
 第 11 回 外部性 (3) 外部性を克服するには？
 第 12 回 自然独占と価格規制
 第 13 回 公共財 (1) 公共財の性質
 第 14 回 公共財 (2) 公共財の最適供給
 第 15 回 民主主義と社会的意思決定

受講生の理解度によっては進度が遅れたり授業計画を変更したりする可能性があります

予習・復習

講義内で使用したハンドアウトや配布する練習問題を用いて、しっかり復習してください。特に、授業等を通して人から教えてもらっただけでは「分かった気」になってしまい、いざという時に学習した事を活かすことができません。内容をしっかり理解するには「その内容を他の人に説明できるようになる」ことを目指して復習することが大切です。

備考

ミクロ経済学やマクロ経済学の応用科目であるため、内容は若干難しくなります。しかし、根気と努力をもって取り組み、内容を理解できるように工夫しながら講義をすすめていきます。